

# 連研のねらい（受講者のみなさんへ）

## ◆ ようこそ

ようこそ門徒推進員養成連続研修会（連研）にご参加くださいました。あなたはどのようなきっかけで、この度の連研を受講されましたか。そしてこの連研に何を期待されるのでしょうか。

「おつとめや作法、仏教や浄土真宗の基礎的知識を教わる研修かな？」と期待されて来られたかもしれませんね。しかし、この研修は単に浄土真宗のみ教えを教わるのが目的ではなく、浄土真宗のみ教えが、あなた自身の今の生活にいきている、必要不可欠なものであることを実感し、生きる意欲を引き出す研修となることをねらいとしています。

## ◆ 12の問い

連研ノートEには「12の問い」があり、自分の内面を掘りさげ、視野を広げ、新たなであい（確かな価値観＝仏教の教え）をいただくという構成にしてあります。

毎回、テーマに基づき受講者が班に分かれて話し合いをしていただきます。これを「話し合い法座」と呼びます。話し合い法座は、受講者が「ともにみ教えを聞き・ともにみ教えに問い・ともにみ教えを語る」場所です。みんなが話しやすい雰囲気をつくり、自分の思いや体験など、積極的に自分の言葉で自分を語る場にしていきましょう。

まず、みなさんが等しく求めている「幸せ」について話し合いをしていただきます。あなたの幸せの価値基準はどのようなものでしょうか。他のみなさんはどうでしょうか。他の方の話に耳を傾けてみましょう。黙って考える時間も大切にしましょう。幸せの基準はみんな同じなのではないでしょうか。問いのそれぞれに決まった答えはありません。多様な考えが話し合われるはずで、多様な考えも尊重しましょう。

## ◆◆ 連研のねらい

「12の問い」は、浄土真宗の知識がない方、寺院との関係の浅い方、家庭にお仏壇を持たない方、誰もが身構えずに取り組むことのできる問いからスタートしています。それは一見、今まで聞いてきたご法話とは関係のないテーマに思われるかもしれませんが、仏教を学びお念仏をいただく私たちの生活に深く根ざしているのです。

## ◆◆ 連続の意味

連研は12回を連続して受講いただく長丁場の研修です。しかし12回の研修だけが連続なのではありません。今日より毎日の暮らしの中において、これから連研で話し合うさまざまな問いを受けとめていくことにこそ、連続の意味があります。そしてもちろん、12回の研修が終わってもこの連続の意味は変わりません。それは連研そのものが自らの生き方の確立をめざすものであり、「自他ともにいのちかがやき、心豊かに生きる道を求め続ける」歩みであるからです。

多くの受講者のみなさんとともに、

- ①当てが外れても、思いが叶わなくても、自分を見失わない生き方。
- ②ゆるぎない安心を土台に、このままの自分と社会ではいられなくなる積極的な生き方。

を、連続してみ教えに問いたずねてまいりましょう。